

8月 各地で綱引行事が行われる

区民の健康や地域の繁栄などを祈願して行われる綱引行事が、市内各地で行われました。3年ぶりとなる内間区の綱引は、勝連小学校前の道路で行われ、多くの参加者で賑わいました(写真)。その他、4日には比嘉区と浜区で、8日には平安名区と平安座区でも綱引が行われ、各地区とも東西に分かれて力いっぱい綱を引き合いました。



8/1 海洋スポーツ普及大会

B&G勝連海洋クラブ主催による海岸のクリーン活動と海洋スポーツ体験が、海中道路ロードパーク周辺で開催されました。参加者は、強い日差しが照りつける中、カヌーやヨット、ジェットスキーなどの海洋スポーツを体験し、楽しいひとときを過ごしました。



8/8 中原エイサーまつり

中原小学校校区の青年会(赤道・江洲・宮里)が、児童、地域住民との連帯や親睦を深め心豊かな明るい地域をつくろうと、同校PTCAと協力しエイサーまつりを同校旧運動場で開催しました。まつりは、金管バンド部の演奏で幕を開け、7青年会によるエイサーなどが披露されました。



8/14 子ども文化祭

第6回うるま市子ども文化祭が市民芸術劇場で開かれました。

市内の琉舞道場や学童クラブなどに通う子どもたちが、日頃練習した歌や踊りなどを元気いっぱい披露し、会場に駆け付けた父母や関係者から大きな拍手が送られていました。



日本代表として、堂々と演舞を披露

ユネスコ東アジア子ども芸術祭参加報告 サントリー地域文化賞受賞報告

うるま市内の中高生が演じる「肝高の阿麻和利」の選抜メンバー16人が、7月下旬にマカオで開かれた「ユネスコ東アジア子ども芸術祭」に日本代表として出場し、迫力ある演舞を披露。

また、「肝高の阿麻和利」の活動を通して地域文化の向上に貢献したとして「第32回サントリー地域文化賞」を受賞しました。8月10日、生徒や関係者が市役所を訪れ、芸術祭に参加した感想、地域文化賞を受賞した喜びを話しました。



報告に訪れた「肝高の阿麻和利」のメンバーら関係者

市立公民館の配置や役割等について提言

「うるま市立公民館」の在り方に対する答申

うるま市教育委員会は、平成22年5月24日にうるま市社会教育委員会議 宮城英次議長に生涯学習時代における「うるま市立公民館」の在り方について諮問し、7月23日の社会教育委員会議において宮城議長より謝敷教育長へ答申がありました。答申を受け教育長は「この答申を尊重し、今後の市立公民館の配置及び役割等に関して市当局と協議しながら検討していく」と述べました。



宮城議長から答申書を受け取る謝敷教育長